

# 目 次

## 第1章 総説

1	沿革	1
2	施設の概要	1
3	組織及び業務内容	2
4	歳入歳出決算	5
5	試験研究費等の推移	6
6	主な試験検査機器	7

## 第2章 業務の概要

1	企画情報部	11
2	保健科学部	14
3	衛生科学部	20
4	環境科学部	22
5	地球科学部	24
6	検査部	27

## 第3章 研究報告

1	研究体系	29
2	研究概要報告	
(1)	生食用カキのノロウイルス不活化に関する研究 保健科学部 上席専門研究員 高橋 知子、専門研究員 白澤 彰、部長 梶田 弘子	33
(2)	医療機関との連携による薬剤耐性菌の解析 保健科学部 上席専門研究員 岩渕 香織	35
(3)	岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究 保健科学部 上席専門研究員 高橋 雅輝	37
(4)	麻痺性貝毒に関する機器分析法の研究 衛生科学部 専門研究員 沼野 聡	39
(5)	下痢性貝毒に関する超臨界抽出法の妥当性に関する研究 衛生科学部 主任専門研究員 昆野 智恵子	40
(6)	機能性炭化物による食品中の重金属低減化のための技術開発 衛生科学部 主任専門研究員 佐々木 陽	42
(7)	有機フッ素化合物の環境動態及び生物蓄積に関する研究 環境科学部 主査専門研究員 岩渕 勝己、部長 川村 裕二	44
(8)	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質実態調査 環境科学部 主査専門研究員 伊藤 朋子、主任専門研究員 佐々木 和明	46
(9)	化審法関連物質の排出源及び動態の解明 環境科学部 主査専門研究員 岩渕 勝己	48
(10)	WE T手法を用いた水環境調査のケーススタディ 環境科学部 専門研究員 本村 華子	50
(11)	重要な絶滅危惧植物を存続させるための技術開発に関する研究 地球科学部 上席専門研究員 小山田 智彰	51
(12)	ツキノワグマの個体群動態と将来予測手法の開発ならびに 人里への出没メカニズムの解明 地球科学部 専門研究員 鞍懸 重和	53
(13)	イヌワシの生息数維持に向けた保全生態学的研究 地球科学部 上席専門研究員 前田 琢	55

(14)	五葉山地域に生息するニホンジカの個体数推定-----	57
	地球科学部 専門研究員 鞍懸 重和	
(15)	酸性雨による環境影響の総合的評価（広域連携事業）-----	58
	地球科学部 技師 小野寺 甲仁	
(16)	微小粒子状物質の発生源解明に関する研究-----	59
	地球科学部 技師 小野寺 甲仁、技師 大橋 慶太郎、上席専門研究員 多田 敬子、 首席専門研究員兼部長 小野 正文	
(17)	ウイルス媒介性節足動物（ヒトスジシマカ）の生息に関する研究-----	61
	地球科学部 技師 大橋 慶太郎	
(18)	新指標による岩手県内光化学オキシダント濃度の長期的評価-----	63
	地球科学部 上席専門研究員 多田 敬子	
(19)	糞便からの腸管出血性大腸菌(EHEC)検出法の検討-----	65
	検査部 主査専門研究員 山中 拓哉、上席専門研究員 太田 美香子、 主査専門研究員 吉田 崇宣、部長 五日市 恵里	
3	研究課題の外部評価-----	69
4	資料	
(1)	感染症発生動向調査事業における病原体検出状況（平成29年度）-----	87
	高橋 雅輝、岩渕 香織、高橋 知子、白澤 彰、梶田 弘子	
(2)	QFT検査の実施状況（平成29年度）-----	96
	白澤 彰、岩渕 香織、高橋 雅輝、高橋 知子、梶田 弘子	
(3)	腸管出血性大腸菌の検出状況（平成29年度）-----	98
	岩渕 香織、高橋 雅輝、高橋 知子、白澤 彰、梶田 弘子	
5	学術雑誌等掲載論文	
(1)	底質・土壌からの有機フッ素化合物の効率的な抽出法の検討 -----	103
	岩渕勝己、千崎則正、鏑迫典久	
(2)	Predicting the Start of the <i>Aedes albopictus</i> (Diptera: Culicidae) Female Adult Biting Season Using the Spring Temperature in Japan-----	109
(3)	Tick surveillance for <i>Borrelia miyamotoi</i> and phylogenetic analysis of isolates in Mongolia and Japan-----	110
(4)	Tissue toxicokinetics of perfluoro compounds with single and chronic low doses in male rats-----	111
	Katsumi IWABUCHI, Norimasa SENZAKI, Daichi MAZAWA, Itaru SATO, Michihiro HARA, Fukiko UEDA, Wei LIU and Shuji TSUDA	
(5)	Integration of wild and captive genetic management approaches to support conservation of the endangered Japanese golden eagle-----	112
(6)	伊豆沼・内沼におけるイヌワシの初記録とその後の長距離移動 -----	113
(7)	Detailed genetic analyses of the HN gene in human respirovirus 3 detected in children with acute respiratory illness in the Iwate Prefecture, Japan -----	114
	Masaki Takahashi, Koo Nagasawa, Koichi Saito, Shun-ichi Maisawa, Kiyotaka Fujita, Koichi Murakami, Makoto Kuroda, Akihide Ryo and Hirokazu Kimura,	
6	研究発表抄録 -----	117

#### 第4章 研究発表目録

1	学術雑誌原著論文-----	177
2	総説・報告等-----	177
3	学会等での口頭発表-----	178
4	県民等に対する啓発活動の状況-----	181